

令和８年度 第１回防府市中小企業振興会議 会議録

日時 令和８年８月６日（木）午後２時から

場所 市役所本館３階共用会議室Ｃ～Ｅ

出席委員 １３名

欠席委員 １名

事務局 ９名

１ 開会挨拶

【市長挨拶】

この会議は、中小企業振興施策を審議する場である。

市では、第６次防府市総合計画及び第３期中小企業振興基本計画に基づき、中小企業振興施策を展開している。

中小企業を取り巻く環境は、物価高騰や人手不足、さらには中東情勢の悪化という厳しい状況下にある。

こうした中、市では、市制度融資の信用保証料の全額補給や据置期間の無利子化という支援策を講じている。本日は、市の施策について、委員から忌憚のない意見をいただき、これからの中小企業振興施策にいかしていきたい。

○ 正副会長選出

委員からの推薦により、会長に今村委員、副会長に平野委員を選出

【事務局】

○ 会議成立の報告

１４名の委員のうち１３名の出席で、防府市中小企業振興会議規則第３条第２項の規定に基づき、本会が成立していることの報告

○ 会議の公開

防府市中小企業振興会議規則第３条第４項の規定により、本日の中小企業振興会議は公開とする旨の報告

【会長】

この会議には６、７年ほど携わっている。専門は環境分野であるが、ＮＰＯ法人の運営をしており、組織運営に携わっている者として貢献できればと思っている。

中小企業の振興については、専門的な知見をもつ副会長にお願いしながら、進めていきたい。

2 防府市中小企業振興会議について

【事務局】

防府市中小企業振興会議について概要説明

～ 資料 1 ～

3 令和 8 年度中小企業振興施策等について

【事務局】

令和 8 年度中小企業振興施策等について説明

～ 「防災都市ほうふ」、「市制施行 90 周年を盛り上げます!」、資料 2、3、4 ～

【会長】

今の説明について意見を伺いたい。企業の経営状況についてどうか。

【A 委員】

原材料や資材の価格高騰が現場を圧迫しているほか、製造業では案件数が減少し、受注競争が激しくなっている。原価や人件費が上昇する一方、価格転嫁がやりにくい状況である。

また、ブルーカラーの人材不足が深刻。即戦力の獲得は困難で、人材の採用や教育、定着にコストがかかり、製造原価にプラスされる。

今後は、生産性の向上や設備投資による効率化をしていかないと、下請け中小企業は事業継続が難しいと感じており、原価高騰や人材不足への継続的な支援をお願いできればと思っている。

【会長】

中小企業の経営環境について、原材料の高騰、受注件数の減少、人材不足などの指摘をいただいた。

【B 委員】

建設業では、中東情勢の影響で、ナフサなど石油製品の出荷制限があり、製品自体が入手困難な時期があった。現在は多少改善し、希望量の 8 割は確保できている。

物価高騰の影響については、顧客が予定していた計画を見直す動きがみられ、懸念している。

道路や建物などのインフラ整備については、非常にありがたい。市民に、こうしたインフラの整備により豊かで安全な生活を送れているということをアピールできたらと思う。

建設業においても人材不足は深刻で、県央部に建築系の高等学校がなくなっている。今後、更に深刻な人材不足になるのではないかと懸念している。

【会長】

人材不足が建設業における大きな課題との話があった。他の委員はどうか。

【C 委員】

昨今の物価高騰はもちろん、化成品関係が一時入手困難となった。現在は、メーカーからの出荷はある程度安定しているが、希望量全てを確保できる状態ではない。

熊本地震による大手製紙メーカーへの影響も懸念している。また、紙業界全体として、10年、20年前と比べて事業者数が半減している。

【会長】

その他意見があれば。

【D 委員】

物流・運輸業では、中東情勢による原油高が大きな負担となる。現在、国の補助金等で価格は抑制されており、こうした補助の動向を注視している。燃料価格が1円変動するだけで、車両台数や走行距離によって数百万円単位の影響が出る企業もある。

運輸・倉庫業は、他の業種と比べて価格転嫁率が低く、官民一体となった価格転嫁の取組が必要である。生産性の向上のため、A I やD X など更なる活用を進めていく必要があり、今後も支援をいただけると。

道路などインフラについては、通勤時間の短縮につながり、大変感謝している。

【会長】

事業者の相談状況はいかが。

【E 委員】

市制度融資について、補正予算により小規模事業者への支援に目を向けていただいたことを感謝している。市内4,000事業者のうち、約7割が小規模事業者。こうした事業者が地域経済を支えており、その不安払拭が大事である。

事業者の相談内容は、多様化しており、経営や資金繰りだけでなく、熊本地震の影響もあってかB C P、サイバー攻撃への対策なども。

相談件数は増えているものの、潜在的な要相談者への周知や、多様化する相談へ対応できる体制を作っていないといけないと考えている。

最近、C h a t G P T に相談した結果を持ち込むケースもあり、正しい情報であっても個々の実情に合わない場合がある。人間味のあるきめ細かな相談対応で、中小企業の不安を解消してあげることが重要と思っており、市と一緒にそのあたりを検討していきたい。

【会長】

相談内容の多様化とそれへの対応についての話が合った。融資の現状についてはいかが。

【F 委員】

前回の会議で、中東情勢の影響に備え、市、商工会議所、金融機関が一体となって市の支援施策を周知していくことが大事という話をした。その後、直ちに市が相談窓口を設置され

たことに感謝している。

この度の制度融資は、信用保証料の全額補給や据置期間の利子補給があり、ほかにはないもの。物価や人件費が上昇する中、小規模事業者は価格転嫁が難しい面があり、そうした事業者にとって非常に有効なものと感じている。

金融機関としても、市や商工会議所と連携して、制度融資を必要とする事業者を支援していきたいと思っている。

【会長】

これまで市が中小企業に対して迅速な対応を行ってきたことで、事業者の安心につながっているという意見。人材不足の話もあったが、雇用の情勢については。

【G委員】

防府市においては、受理地別の有効求人倍率は1倍程度で推移しているが、就業地別では1.3倍となっており、人手不足が続いている状態といえる。

1点懸念があるのは、受理地別の求人倍率が1倍程度ということで、物価高騰によって小規模事業者の求人活動が難しくなっている可能性がある。加えて、今後の最低賃金の上昇による労務費への影響もあるので、事業者にとっては悩ましい状況が続くと思う。

ハローワークとしては、引き続き求職者と求人事業者のマッチングを推進していきたい。求職者のうち40%程度が55歳以上、25%程度が65歳以上であることから、事業者の皆様にはシニア世代の活用についても検討していただきたい。

【会長】

小規模事業者は厳しい環境下に置かれている、それからシニア世代をどう活用していくかという話があった。その他意見があれば。表参道プロジェクトについてはいかが。

【E委員】

市と商工会議所が連携してプロジェクトを進めている。商工会議所では、まちづくり特別会議を設置し、整備後のソフト事業などについて検討している。防府の色として、いろんな計画を立てる上で、道にネーミングすることとなった。これは、8月20日の裸坊100日前イベントの際、発表させていただく。これを契機としてまちづくりの機運を高めていきたい。

アーケードについても、銀座商店街や地権者と協議している。市の計画に合わせて、民間側も動いている状況である。

最後に、裸坊1万人を目指しているので御協力をお願いしたい。

4 令和7年度中小企業振興施策の実施状況及び令和7年度防府市の工事・役務・物件契約における中小企業者の受注状況について

【事務局】

令和7年度中小企業振興施策の実施状況及び令和7年度防府市の工事・役務・物件契約に

おける中小企業者の受注状況について説明

～ 資料5、6－1、6－2、7 ～

【会長】

令和7年度中小企業振興施策等について、意見をいただきたい。

【H委員】

エコライフ住宅推進事業について、近年予算を使い切っていない状況であるため、対象となる工事について見直しを行っていただきたいと思う。

また、周防国一宮周辺について、防災公園の整備や医療センターの移転があり、今後大きく変わっていくので、その活性化についても検討してほしい。

学校の空調設備については、防府市が他市に先駆けてこうした政策を行った点を高く評価している。

最後に、今後、県のぶちエコやまぐち家電購入キャンペーンのような、家電購入への支援施策についても検討してほしい。

【会長】

各委員から、原材料の高騰、人手不足、そして、社会情勢の変化の中で、とりわけ小規模事業者が厳しい状況下であるという話があった。すぐにこれらの諸課題を解決することはできないが、防府市では手厚い支援をしていただいていると感じている。引き続き、施策の充実をお願いしたい。

【市長】

物価高騰が中小企業にとって大きな課題であることを改めて感じたところ。

そういった中、道路などのインフラ整備は、渋滞解消によるコストや人件費の削減にもつながるため、総合計画に基づき着実に進めていきたい。

相談窓口については、必要な人が利用できているかどうか、今後検討していきたい。

人材不足についても、建築士など人材獲得の競争が激しくなっている。小規模事業者の求人意欲が下がっているという話もあったので、今後、求人状況を注視していく。

表参道プロジェクトについては、市としても支援し、中心市街地の活性化につなげていきたい。

その他、住宅リフォームや周防国一宮周辺の活性化など、本日いただいた意見については、全てを実施することは難しいものの、優先度を踏まえて、予算に反映できるものについては検討していきたい。

【事務局】

以上で、令和8年度第1回中小企業振興会議を終了する。

会議終了 午後3時30分